

第9回 大和高田市 口腔ケア研修会(医科歯科連携)実施報告

- 日 時：平成29年11月16日(木)17時30分～19時15分
- 場 所：放射線治療棟 3F 大会議室
- 参加者数：・院外 合計41名：歯科医師29名(市内:17名・市外12名)歯科衛生士1名
医師1名、コ・メディカル 10名
・院内 合計25名：医師、看護師、管理栄養、ST、MSW
- 講 師：やまもと歯科 山本 伸介 先生
外科 副院長 中山 裕行 先生
地域医療連携センター センター長 高幣 和郎 先生



山本先生よりまず、『周術期口腔機能管理の流れ』についての講義がありました。当院より周術期として受診の依頼が増加しており、依頼時の受診の流れについて説明されました。しかし、やまもと歯科を受診された患者さんの多くが治療途中で通院を中断されており、周術期が終わっても通院が継続できる取り組みも行う必要があるとのことでした。

次に、中山先生より『栄養管理と口腔ケア』について講演がありました。サルコペニアとフレイルとの栄養管理の関連についての後、術前に栄養管理を行っていない症例は合併症・感染・死亡率が増加し、在院日数の延長・医療費の増加のリスクが多くなるとのことでした。そして、予防として十分な栄養摂取と適度な運動を行い、筋肉量の維持に努める必要性があるとのことでした。

高幣先生からは、『栄養管理と胃瘻』の講義では、胃瘻は最後の砦ではなく、早期に造設し栄養状態を改善することで、経口と胃瘻の共存や、胃瘻からの離脱などの利点があることを話されました。

質疑応答では、医科からの診療情報の中で特に重要な項目は、告知の有無算定要件(手術か化学療法か等)・手術予定日・薬情報・治療上の注意点・禁忌薬剤との事でした。

医科歯科連携について、周知はされてきましたが、対象の患者さんが当院の治療中や治療後も歯科への通院が継続できるように、関わりも今後の課題であると思いました。

今回は、多数の参加者があり、各職種における課題を考える有意義な研修会となりました。今後も御協力の程お願い致します。

参加有り難うございました。皆さま、お疲れ様でした！

